

ホルモン療法耐性獲得マーカー

アンドロゲンレセプター依存性獲得判定方法

概要

乳癌の70%以上はホルモン療法治療対象者であり、このうち1/3の患者は、ホルモン療法に耐性を示し再発する。再発後は、化学療法が行われるが、予後が不良で治療が困難である。そのため、ホルモン療法耐性患者に対する新たな治療方法が望まれている。

本発明者らは、ホルモン療法耐性を示す乳癌細胞には、アンドロゲン応答性を獲得して増殖する乳癌細胞が存在していることを見出した。現在、臨床検体を用いて、検証中である。このような乳癌には抗アンドロゲン剤の投与が有効と考えられる。

本発明で発現増強が確認された因子は、ホルモン療法耐性を獲得した乳癌の特性を調べるマーカーとしての活用を期待できる。本発明の細胞株は、ホルモン療法耐性患者に対する創薬開発のツールとしての活用も期待できる。

応用例

- ☆ コンパニオン診断
- ☆ 創薬スクリーニング など

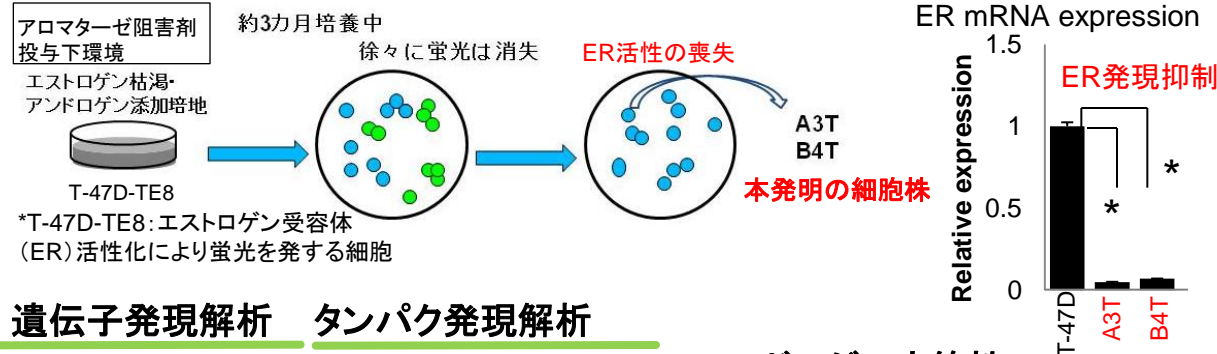
特許データシート

特許番号: 特願2015-518133

発明者: 林慎一、藤井里圭

出願人: 東北大学

耐性株の樹立



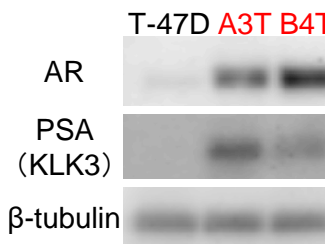
遺伝子発現解析

マイクロアレイ結果

Gene Symbol	Fold Change
KLK3	438.2
DDC	107.4
ZBTB16	35.3
PLAU	22.1
GDNF	18.5

タンパク発現解析

Western Blotting

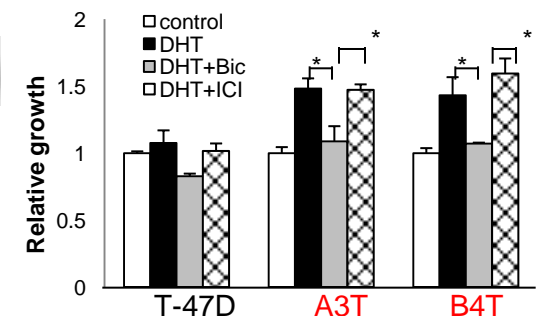


* KLK3 = PSA (前立腺特異抗原)

* DDC= アンドロゲン受容体(AR)コファクター (DDC活性化 \Rightarrow AR活性化亢進)

★ホルモン療法耐性を獲得した細胞では、AR、DDC及びPSAの発現が増強

アンドロゲン応答性



*DHT: ジヒドロテストステロン (アンドロゲン)

*Bic: ビカルタミド (抗アンドロゲン剤)

*ICI: フルベストラント (抗エストロゲン剤)

★本発明のホルモン療法耐性株は、男性ホルモン(アンドロゲン)に依存して増殖し、抗アンドロゲン剤で増殖が抑制される。

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ
TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419
お問い合わせは、[こちら](#)からお願いします。

関連特許文献: 特開2013-17414